

人 口

1 総 人 口

平成15年10月1日現在の総人口は1,216,735人

平成15年10月1日現在の総人口は1,216,735人で、前年と比べて2,323人(0.19%)減少した。本県の人口は、昭和30年(1,277,199人)を最高に、以後減少を続けていたが、昭和46年には増加に転じ、昭和60年(1,250,214人)までは増加傾向が続いた。しかし、その後は再び減少に転じ、平成6年にわずかに増加したものの、現在まで減少傾向で推移している。〔図1・2, 表1・3〕

図1 総人口の推移(昭和30～)

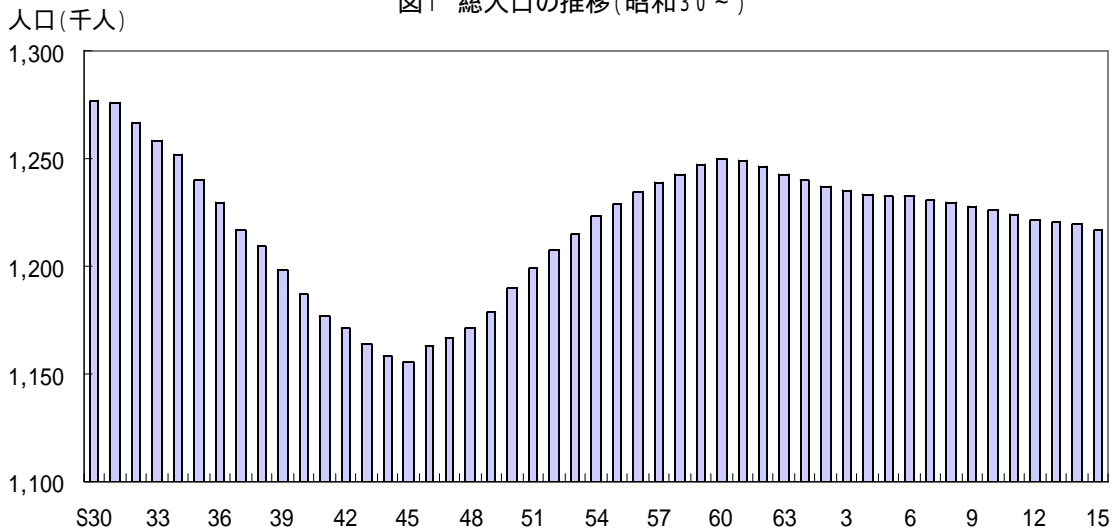
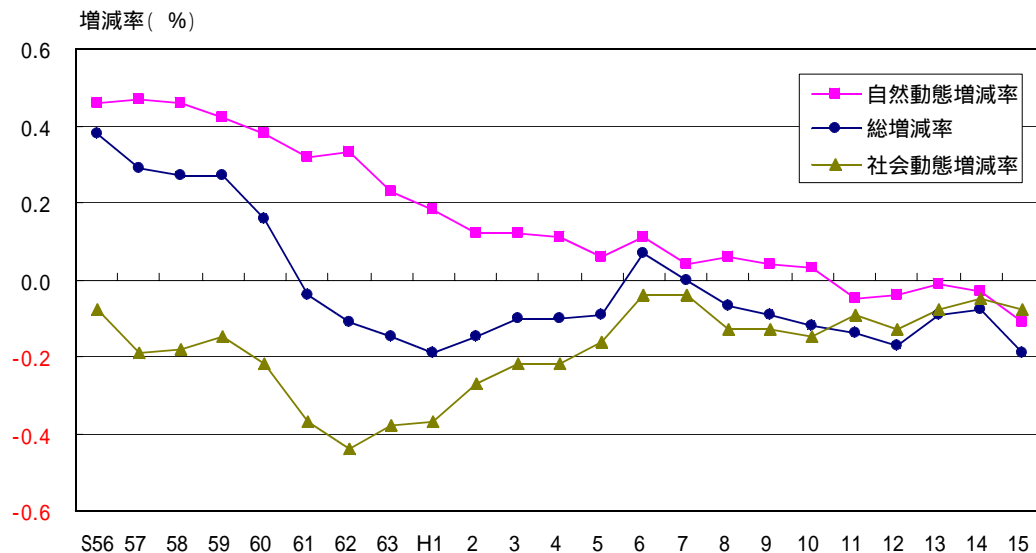


図2 人口増減率の推移



女性が男性より約7万人多い

男子は573,245人、女子は643,490人であり、女子が男子より70,245人多く、性比は89.1である。前年と比べると、男子は1,327人減少、女子は996人減少している。〔表1〕

自然動態、社会動態共に減少

この1年間の増減を人口動態別にみると、自然動態では出生児が10,353人、死亡者が11,702人で1,349人の自然減となり、平成11年以降は年間の死亡者数が出生児数を上回るようになった。また、社会動態では転入者が49,283人、転出者が50,257人で、974人の社会減(転出超過)となっている。

〔表1・2〕

表1 平成14年10月1日～平成15年9月30日の人口動態

単位:人				
	総数	男	女	性比
平成15年10月1日人口	1,216,735	573,245	643,490	89.1
前1年間の増減	-2,323	-1,327	-996	
自然動態	-1,349	-871	-478	
出生	10,353	5,266	5,087	103.5
死亡	11,702	6,137	5,565	110.3
社会動態	-974	-456	-518	
転入	49,283	25,433	23,850	106.6
転出	50,257	25,889	24,368	106.2
平成14年10月1日人口	1,219,058	574,572	644,486	89.2

転入・転出者数には、前住地又は転出先が不明の者及び県外転出取消者を含む。

表2 人口動態の推移

単位:人 %

年次	増減数	増減率	自然動態				社会動態			
			出生児	死亡者	増減	増減率	転入者	転出者	増減	増減率
S56	4,684	0.38	15,495	9,814	5,681	0.46	66,001	66,998	-997	-0.08
57	3,544	0.29	15,122	9,275	5,847	0.47	64,707	67,010	-2,303	-0.19
58	3,360	0.27	15,195	9,554	5,641	0.46	63,395	65,676	-2,281	-0.18
59	3,343	0.27	14,908	9,660	5,248	0.42	61,411	63,316	-1,905	-0.15
60	2,027	0.16	14,236	9,490	4,746	0.38	59,503	62,222	-2,719	-0.22
61	-535	-0.04	14,017	9,973	4,044	0.32	57,308	61,887	-4,579	-0.37
62	-1,395	-0.11	13,531	9,392	4,139	0.33	55,959	61,493	-5,534	-0.44
63	-1,886	-0.15	12,748	9,889	2,859	0.23	54,881	59,626	-4,745	-0.38
H1	-2,385	-0.19	12,004	9,792	2,212	0.18	54,334	58,931	-4,597	-0.37
2	-1,813	-0.15	11,725	10,198	1,527	0.12	53,872	57,212	-3,340	-0.27
3	-1,230	-0.10	11,808	10,307	1,501	0.12	54,636	57,367	-2,731	-0.22
4	-1,295	-0.10	11,627	10,266	1,361	0.11	54,843	57,499	-2,656	-0.22
5	-1,147	-0.09	11,413	10,632	781	0.06	54,337	56,265	-1,928	-0.16
6	839	0.07	11,686	10,325	1,361	0.11	53,907	54,429	-522	-0.04
7	16	0.00	11,391	10,843	548	0.04	54,164	54,696	-532	-0.04
8	-857	-0.07	11,264	10,578	686	0.06	52,925	54,468	-1,543	-0.13
9	-1,134	-0.09	11,192	10,759	433	0.04	53,451	55,018	-1,567	-0.13
10	-1,489	-0.12	11,218	10,811	407	0.03	51,952	53,848	-1,896	-0.15
11	-1,681	-0.14	10,837	11,447	-610	-0.05	52,413	53,484	-1,071	-0.09
12	-2,077	-0.17	10,854	11,297	-443	-0.04	50,598	52,232	-1,634	-0.13
13	-1,079	-0.09	10,936	11,032	-96	-0.01	49,748	50,731	-983	-0.08
14	-1,003	-0.08	10,659	11,079	-420	-0.03	50,251	50,834	-583	-0.05
15	-2,323	-0.19	10,353	11,702	-1,349	-0.11	49,283	50,257	-974	-0.08

転入・転出者数には、前住地又は転出先が不明の者及び県外転出取消者を含む。

2 市町村別人口

10市町村で人口が増加

この1年間に人口が増加したのは4市6町である。

増加率が高いのは弥生町(0.86%)、挾間町(0.79%)、武蔵町(0.73%)で、増加数が多いのは大分市(1,136人)、日出町(188人)、中津市(165人)である。

一方、人口が減少したのは48市町村(7市30町11村)である。

減少率が高いのは上津江村(-2.56%)、上浦町(-2.01%)、天瀬町(-1.99%)で、減少数が多いのは佐伯市(-359人)、津久見市(-260人)、日田市(-247人)である。

この結果、人口が最も多いのは大分市 442,219人で、県総人口の36.3%を占め、次いで別府市 126,879人(同10.4%)、中津市 66,973人(同5.5%)の順である。最も少ないのは上津江村の1,258人、次いで中津江村 1,300人、前津江村 1,598人の順である。〔表6〕

自然増減では4市町が増加、社会増減では20市町村で増加

この1年間の人口増加を人口動態別にみると、自然動態では2市2町で増加している。

増加率が高いのは大分市(0.35%)、挾間町(0.23%)、中津市(0.22%)で、増加数が多いのは大分市(1,547人)、中津市(147人)、挾間町(34人)である。減少したのは54市町村(9市34町11村)で、減少率が高いのは真玉町(-1.50%)、緒方町(-1.36%)、大野町(-1.35%)で、減少数が多いのは別府市(-325人)、宇佐市(-168人)、竹田市(-131人)である。

社会動態では、20市町村(4市13町3村)で増加(転入超過)している。

増加率が高いのは野津原町(1.45%)、弥生町(1.16%)、武蔵町(1.12%)で、増加数が多いのは別府市(466人)、日出町(175人)、杵築市(100人)である。減少(転出超過)したのは38市町村(7市23町8村)で、減少率が高いのは上津江村(-1.94%)、千歳村(-1.55%)、荻町(-1.25%)で、減少数が多いのは大分市(-411人)、佐伯市(-260人)、日田市(-190人)である。〔表4・6〕

表4 人口増減率別市町村数

増減率		市町村数		
		純増減	自然増減	社会増減
増加市町村	計	10	4	20
	1.50%以上	0	0	0
	1.00～1.50%未満	0	0	3
	0.50～1.00%未満	5	0	6
	0.50%未満	5	4	11
減少市町村	計	48	54	38
	-0.50%未満	8	16	18
	-0.50～-1.00%未満	10	29	13
	-1.00～-1.50%未満	15	8	5
	-1.50%以上	15	1	2

人口の性比は上津江村が最も高い

市町村別の性比(女子100人に対する男子の割合)をみると、上津江村が104.2と最も高く、唯一男子の数が女子の数を上回っている。最も低いのは米水津村が78.3である。〔表6〕

3 地域別人口

市部人口は県全体の74.9%

県人口を市部・郡部別にみると市部人口は 911,266 人で、県総人口の 74.9% を占めている。前年と比較すると市部人口が 0.1 ポイントの上昇で、市部への人口集中が進んでいる。〔表 5〕

表5 市部・郡部別人口の推移

単位：人・%

年次	人 口			県人口に占める割合	
	総人口	市 部	郡 部	市 部	郡 部
S40	1,187,480	737,882	449,598	62.1	37.9
45	1,155,566	756,579	398,987	65.5	34.5
50	1,190,314	819,953	370,361	68.9	31.1
55	1,228,913	868,156	360,757	70.6	29.4
60	1,250,214	896,958	353,256	71.7	28.3
H2	1,236,942	899,924	337,018	72.8	27.2
3	1,235,149	901,669	333,480	73.0	27.0
4	1,233,290	903,530	329,760	73.3	26.7
5	1,231,579	904,618	326,961	73.5	26.5
6	1,231,854	907,145	324,709	73.6	26.4
7	1,231,306	909,057	322,249	73.8	26.2
8	1,229,863	910,290	319,573	74.0	26.0
9	1,228,143	910,528	317,615	74.1	25.9
10	1,226,068	910,640	315,428	74.3	25.7
11	1,223,802	910,288	313,514	74.4	25.6
12	1,221,140	909,706	311,434	74.5	25.5
13	1,220,061	910,566	309,495	74.6	25.4
14	1,219,058	911,333	307,725	74.8	25.2
15	1,216,735	911,266	305,469	74.9	25.1

大分臼津地域は654人の増加

生活圏域別（用語の説明 別表 2 参照）にみると、人口が最も多いのは大分臼津地域で 552,680 人と県総人口の 45.4% を占めている。人口が最も少ないのは大野直入地域で 79,429 人である。

この 1 年間に人口が増加したのは大分臼津地域だけで、減少数で最も多いのは日田玖珠地域が -849 人、減少率では大野直入地域が -1.0% で最も大きい。〔表 7〕

表7 生活圏域別人口の推移

単位：人・%

生活圏域	H9	増減	H10	増減	H11	増減	H12	増減	H13	増減	H14	増減	H15	
	総 数	1,228,143	-2,075	1,226,068	-2,266	1,223,802	-2,662	1,221,140	-1,079	1,220,061	-1,003	1,219,058	-2,323	1,216,735
人	大分臼津	546,218	994	547,212	1,179	548,391	231	548,622	1,858	550,480	1,546	552,026	654	552,680
口	別杵国東	222,582	-576	222,006	-172	221,834	474	222,308	280	222,588	-48	222,540	-12	222,528
	大野直入	84,143	-802	83,341	-740	82,601	-841	81,760	-787	80,973	-764	80,209	-780	79,429
	県 北	178,656	-680	177,976	-990	176,986	-908	176,078	-663	175,415	-749	174,666	-629	174,037
	県 南	86,437	-428	86,009	-823	85,186	-737	84,449	-896	83,553	-482	83,071	-707	82,364
	日田玖珠	110,107	-583	109,524	-720	108,804	-881	107,923	-871	107,052	-506	106,546	-849	105,697
人	総 数	100.0	-0.2	100.0	-0.2	100.0	-0.2	100.0	-0.1	100.0	-0.1	100.0	-0.2	100.0
口	大分臼津	44.5	0.2	44.6	0.2	44.8	0.0	44.9	0.3	45.1	0.3	45.3	0.1	45.4
割	別杵国東	18.1	-0.3	18.1	-0.1	18.1	0.2	18.2	0.1	18.2	0.0	18.3	0.0	18.3
合	大野直入	6.9	-1.0	6.8	-0.9	6.7	-1.0	6.7	-1.0	6.6	-0.9	6.6	-1.0	6.5
	県 北	14.5	-0.4	14.5	-0.6	14.5	-0.5	14.4	-0.4	14.4	-0.4	14.3	-0.4	14.3
	県 南	7.0	-0.5	7.0	-1.0	7.0	-0.9	6.9	-1.1	6.8	-0.6	6.8	-0.9	6.8
	日田玖珠	9.0	-0.5	8.9	-0.7	8.9	-0.8	8.8	-0.8	8.8	-0.5	8.7	-0.8	8.7

4 年齢別人口

年少人口は3,018人減少、老年人口は4,918人増加

年齢（3区分）別人口では、0~14歳の年少人口は170,212人、15~64歳の生産年齢人口は760,919人、65歳以上の老年人口は284,207人である。

これを前年と比較すると、年少人口は3,018人（1.7%）の減少、生産年齢人口は4,223人（0.6%）の減少、老年人口は4,918人（1.8%）の増加である。

この結果、総人口に占める割合は、年少人口14.0%（対前年比0.2%低下）、生産年齢人口62.5%（同0.3%低下）、老年人口23.4%（同0.5%上昇）となった。

年齢構成指数をみると、年少人口指数は22.4（対前年比0.2低下）、老年人口指数は37.4（同0.9上昇）、従属人口指数は59.7（同0.6上昇）、老年化指数は167.0（同5.8上昇）となっている。

〔図3・4，表8〕

図3 年齢(3区分)別人口割合の推移

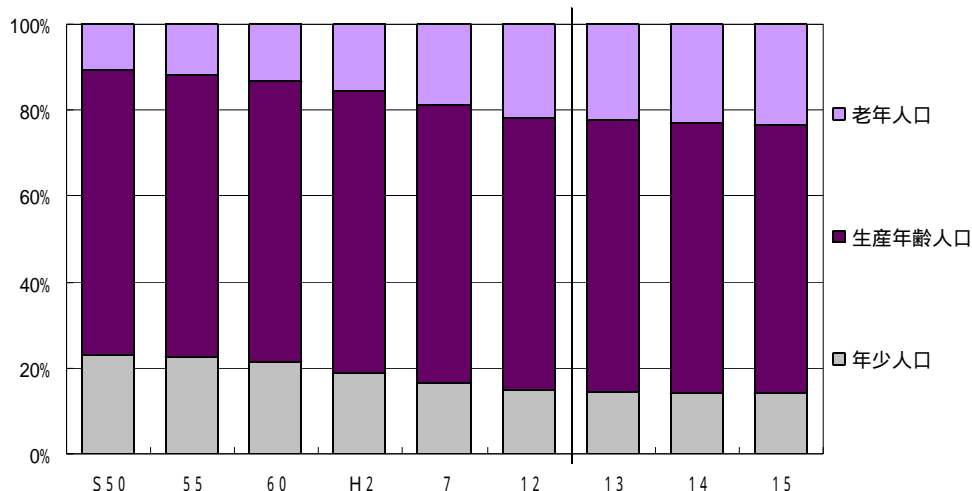
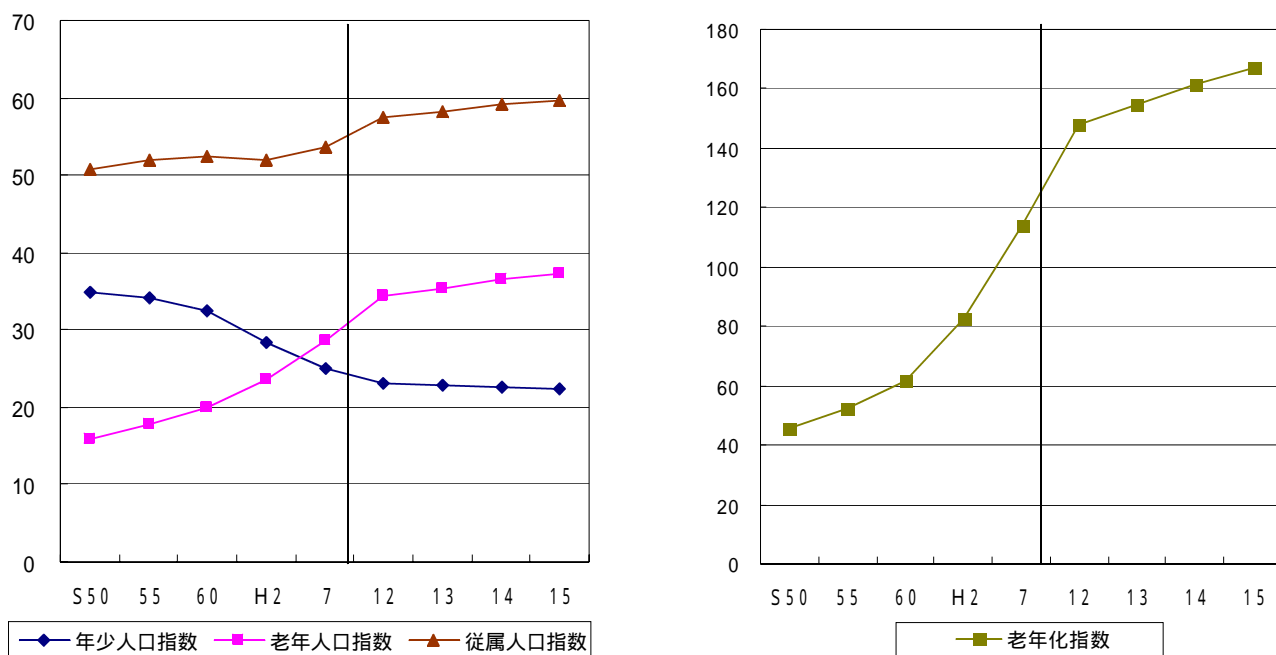


表8 年齢(3区分)別人口の推移

	S50	55	60	H2	7	12	13	14	15
総数	1,190,314	1,228,913	1,250,214	1,236,942	1,231,306	1,221,140	1,220,061	1,219,058	1,216,735
対前回増減	34,748	38,599	21,301	-13,272	-5,636	-10,166	-1,079	-1,003	-2,323
増減率(%)	3.0	3.2	1.7	-1.1	-0.5	-0.8	-0.1	-0.1	-0.2
年少人口 (0~14歳)	274,612	276,390	266,502	231,265	200,909	179,439	176,214	173,230	170,212
割合(%)	23.1	22.5	21.3	18.7	16.3	14.7	14.4	14.2	14.0
対前回増減	-4,993	1,778	-9,888	-35,237	-30,356	-21,470	-3,225	-2,984	-3,018
増減率(%)	-1.8	0.6	-3.6	-13.2	-13.1	-10.7	-1.8	-1.7	-1.7
生産年齢人口 (15~64歳)	789,878	808,130	819,891	812,665	801,035	774,403	770,167	765,142	760,919
割合(%)	66.4	65.8	65.6	65.7	65.1	63.4	63.1	62.8	62.5
対前回増減	23,829	18,252	11,761	-7,226	-11,630	-26,632	-4,236	-5,025	-4,223
増減率(%)	3.1	2.3	1.5	-0.9	-1.4	-3.3	-0.5	-0.7	-0.6
老年人口 (65歳以上)	125,669	144,240	163,746	191,441	229,076	265,901	272,283	279,289	284,207
割合(%)	10.6	11.7	13.1	15.5	18.6	21.8	22.3	22.9	23.4
対前回増減	15,757	18,571	19,506	27,695	37,635	36,825	6,382	7,006	4,918
増減率(%)	14.3	14.8	13.5	16.9	19.7	16.1	2.4	2.6	1.8
年齢構成指数									
年少人口指数	34.8	34.2	32.5	28.5	25.1	23.2	22.9	22.6	22.4
老年人口指数	15.9	17.8	20.0	23.6	28.6	34.3	35.4	36.5	37.4
従属人口指数	50.7	52.0	52.5	52.0	53.7	57.5	58.2	59.1	59.7
老年化指数	45.8	52.2	61.4	82.8	114.0	148.2	154.5	161.2	167.0

総数には年齢不詳を含む

図4 年齢構成指数の推移



50市町村で老年人口の割合が25%を超える

市町村別に年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口割合が最も高いのは大分市で 15.5%、最も低いのは大野町の 9.5%である。生産年齢人口の割合が最も高いのは大分市で 68.5%、最も低いのは太田村で 44.7%である。老年人口の割合は大田村が 45.5%で最も高く、最も低いのは大分市が 15.9%である。

老年人口の割合が 25%を超えるのは 50 市町村、県平均の 23.4%より低いのは、大分市、中津市、日出町、挾間町である。〔表 10〕

最も高齢化の進む大野直入地域

生活圈域別に年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口割合が最も高いのは大分臼津地域で 14.9%、最も低いのは大野直入地域の 11.4%である。生産年齢人口の割合が最も高いのは大分臼津地域で 66.7%、最も低いのは大野直入地域で 53.8%である。老年人口の割合は大野直入地域が 34.8%で最も高く、最も低いのは大分臼津地域が 18.4%である〔表 10〕。

5 月 別 人 口

11月1日現在の人口が最も多い

この1年間の人口の推移を月別にみると、11月1日現在の人口が1,219,389人で最も多くなった。その後減少に転じ3月中の就職・進学等による県外転出のため大幅に減少した結果、4月1日現在で1,214,450人と最も少なくなった。そして、4月中の県外からの転入超過により幾分回復した後は、ゆるやかな増減で推移している。〔図5，表9〕

図5 月別人口の推移

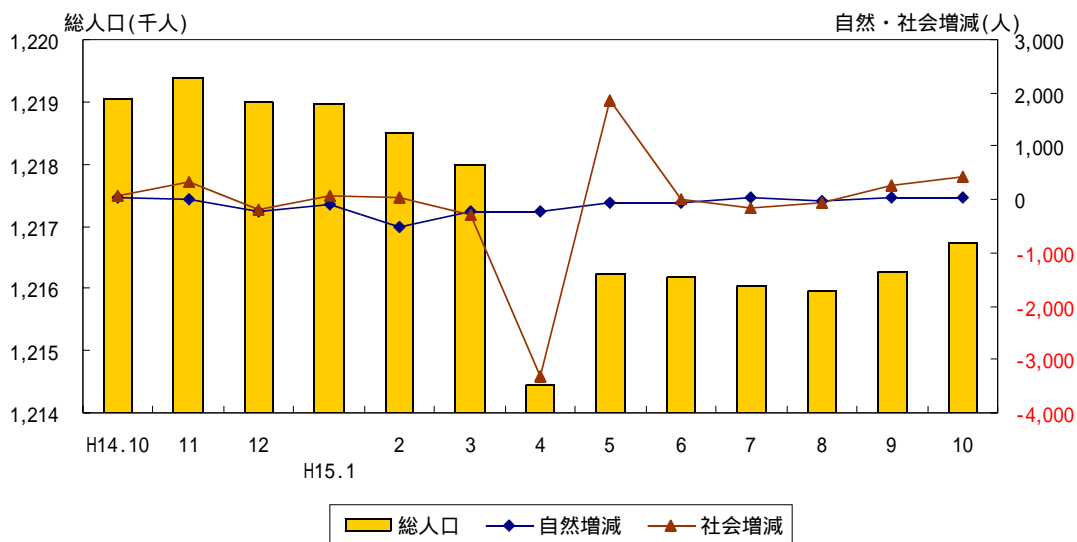


表9 月別人口、世帯及び月別人口動態

単位:人、世帯

年月	総人口	前1ヶ月年間の人口動態							世帯数
		人口増減	自然動態			社会動態			
			出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
H14.10.1	1,219,058	119	891	848	43	3,131	3,055	76	463,243
11.1	1,219,389	331	943	946	-3	3,647	3,313	334	463,885
12.1	1,218,982	-407	816	1,038	-222	2,650	2,835	-185	464,028
H15.1.1	1,218,959	-23	840	944	-104	2,752	2,671	81	464,182
2.1	1,218,503	-456	933	1,442	-509	2,851	2,798	53	464,168
3.1	1,217,993	-510	777	1,012	-235	2,862	3,137	-275	464,152
4.1	1,214,450	-3,543	791	1,023	-232	7,828	11,139	-3,311	463,371
5.1	1,216,234	1,784	878	943	-65	9,128	7,279	1,849	465,968
6.1	1,216,184	-50	900	953	-53	3,635	3,632	3	466,359
7.1	1,216,038	-146	894	868	26	3,057	3,229	-172	466,627
8.1	1,215,964	-74	844	860	-16	3,645	3,703	-58	466,994
9.1	1,216,271	307	840	813	27	3,576	3,296	280	467,195
10.1	1,216,735	464	897	860	37	3,652	3,225	427	467,826
この1年間の計		-2,323	10,353	11,702	-1,349	49,283	50,257	-974	